

美浜3号機あす停止

テロ対策設置

来秋に再稼働

関西電力は21日、運転開始から40年を超える美浜原発3号機（福井県美浜町）を23日昼ごろに停止させると発表した。テロ対策施設の建設が期限内に間に合わないためだ。再稼働からわ

ずか4カ月間だが老朽原発の運転実績をつくったことで、今後の長期運転への布石としたい狙いもある。

3号機は今年6月、10年ぶりに再稼働していた。国内で40年超の原発が動いた

のは、東日本大震災後では初めて。補助給水ポンプの不具合や非常用ディーゼル発電機の自動停止などのトラブルがあったが、関電によると発電量はほぼ計画通りだったという。これまで安全対策費や修繕費を投じており、短期間の運転で利益を出すのは難しいが、「将来的に40年超の原発を動かすための収穫になった」と関電幹部はいう。

設備義務のあるテロ対策施設は来年9月ごろには完成の見通しで、同10月20日には再び発送電を始める計画だ。今後は約13カ月間かけて定期検査を行い、原子炉本体の状態を調べたり、劣化した部品を交換したりする。

だが課題はある。福井県は関電に対し、使用済み燃料の中間貯蔵施設の県外候補地を示すよう求めている。関電は当初、20年内に示すとしていたが23年末に事実上延期するなど先行きは不透明だ。

（加茂謙吉）